

ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

平成31年4月14日号

第47号

発行 社会福祉法人 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒314-0121 神栖市溝口1746番地1

TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750

ホームページ <http://www.kamisushakyo.com/vc/>

※ホームページではこの広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます

メールアドレス mail@kamisushakyo.com

特集 神栖のボランティア平成史ダイジェスト

新元号「令和」が発表され、平成も残すところあとわずかとなりました。平成最後の発行となるボランティアセンターマガジンでは、平成のボランティアに関する出来事を抜粋し、過去から現在、未来へとボランティアさんがつないできた神栖市におけるボランティアの歴史を振り返ります。



ひとみの会(平成4年設立)

平成元年(1989年) ボランティア入門講座 スタート

気軽に参加できる入門講座が始まりました。講座受講者からサタデーズ、点字講座からはひとみの会、傾聴ボランティア養成講座受講者によるみみずく、メイクボランティア養成講座修了者によるビューティサポート・スマイル、60歳代男性対象の輝くための男の講座参加者による神栖輝楽シニア倶楽部、緑趣会などの団体が生まれました。



サタデーズ(平成7年設立)



ビューティサポート・スマイル(平成25年設立)



緑趣会(平成29年設立)



宅配弁当の盛りつけ

平成2年(1990年) 配食型給食サービス スタート

高齢者宅へお弁当をお届けし、バランスの取れた食事の確保と安否確認を行う配食型給食サービスがこの年スタートしました。お弁当を盛りつける方、届ける方、多くのボランティアが活躍しました。

後にこのサービスは神栖市の事業となり、現在も「配食サービス」として公的サービスのひとつとなっています。



写真提供: 神戸市

平成7年(1995年) 阪神・淡路大震災、ボランティア元年

6,434人が亡くなった阪神・淡路大震災が発生しました。震災発生直後は1日2万人、最終的にはのべ160万人を超えるボランティアが活動しました。多くのボランティアが活動したことから、この年は、のちに日本における「ボランティア元年」と呼ばれるようになりました。



ういるかみすでの調理、通院介助

平成9年(1997年) ういるかみす、わくわくサロンがスタート

住民同士の助け合い活動ういるかみすがこの年にスタートしました。わくわくサロンもこの年に始まりました。平成9年に活動を開始したサロンのうち、わくわくサロンめだか(本紙裏面に掲載)を含む5つのサロンが、現在も活動を継続しています。

わくわくサロンの数

平成9年度……6か所
平成30年度……14か所

ういるかみすの活動件数

平成9年度……199件
平成30年度……632件

裏面へ続く



平成12年(2000年) ボランティア交流サロン開設

神栖市保健・福祉会館に「交流サロン」が開設されました。視覚障害者のための広報紙等の録音室・点訳室、ボランティア相談や情報収集、打合ができる、ボランティアのためのスペースです。

平成17年(2005年) 神栖市、波崎町合併により神栖市誕生



平成23年(2011年) 東日本大震災、ボラマガ創刊

1万5,000人を超える死者を出した東日本大震災が発生。液状化や断水など神栖市も甚大な被害を受けました。多くの市民のみなさんが立ち上がり、給水所での給水補助、高齢者や障害者、乳幼児のいる世帯への飲料水の配達などを行いました。

神栖市災害ボランティアセンターへの登録者数 延べ346人
活動件数 402件



上：給水所での給水補助
下：赤ちゃんのいる世帯への入浴用お湯の配達

ボランティアセンターマガジン(本紙)は震災発生から約5か月が経過した平成23年8月に創刊されました。創刊号の特集は、災害ボランティア講座の報告。災害ボランティア活動にあたった方達の意見交換の様子が伝えられました。



ボランティアセンターマガジン

平成31年(2019年) 現在

ボランティアセンター登録者数の比較 平成6年度……延べ681人、36団体(神栖町・波崎町合計)



25年間で2倍以上に！

平成30年度 …延べ1,731人、83団体(神栖市)

去りゆく平成を振り返るにあたって、古い資料や写真などを保管箱から取り出しました。たくさんの市民の皆さんの思いや行動によって、ボランティアの歴史が形づくられていることを感じられます。

四半世紀前と比較し、ボランティアセンターに登録をする方は2倍以上に増え、ボランティア活動への関心が徐々に高まり、多くの方のご協力を得られるようになったことが伺えます。

令和以降も、ボランティアセンター、ボランティアセンターマガジンをよろしくお願いいたします。

不要になった入れ歯を福祉に役立てませんか

神栖市社協はNPO法人日本入れ歯リサイクル協会に協力し、入れ歯の回収ボックスを設置しています。

入れ歯に含まれる貴金属が換金され40%がユニセフに、40%が神栖市社協に寄付されます。平成30年度の入れ歯回収による神栖市社協への寄付は7,652円となりました。皆様のご協力、ありがとうございました。

不要の入れ歯がありましたら、ぜひご協力をお願いします。

<回収ボックス設置場所／お問合せ先>

社協神栖本所前(神栖市保健・福祉会館 新館2階) 電話：0299-93-0294(担当：大久保)

社協波崎支所前(神栖市はさき福祉センター内) 電話：0479-48-0294(担当：横田)

<寄付の方法>

①熱湯または入れ歯洗浄剤で入れ歯を消毒します。

②新聞紙等で入れ歯を包み、ビニール袋に入れて回収ボックスに投入します。

神栖本所前の
回収ボックス



シリーズ 私たちの！わくわくサロン自慢



👑ココが自慢！

サロンに参加した方みんなが笑顔になれるアットホームさが“めだか”の自慢です。

代表の松本さんは「参加者のペースに合わせて、プログラムを決め、全員が楽しめるように意識しています。」と話してくれました。



お祝いの品はバルーンでできた花束

サロンは、地域の高齢者や障害者、子育て中の親子が公民館などの身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。

今回おじやましたのは、新港公民館で開催されている“ふれあいサロンめだか”です。3月17日(日)は総勢15名の方が参加されていました。

この日は白寿を迎えた参加者を、歌と踊りで盛大にお祝いしました。元気の秘訣は？とインタビューされると「気ままに好きなことをやること。友達に会いに“めだか”に来ることもそのひとつだよ」と話してくれました。

サロンデータ

サロン名	ふれあいサロンめだか
開設日	平成9年12月7日
開催日時	毎月第3日曜日10時～14時
会場	新港公民館
協力者	8名
代表者	松本靖子さん
参加費	800円

お知らせ



ボランティア登録団体

ハッチ主催「ムーブメント教育・療法」開催のお知らせ

ムーブメント教育・療法は、対象者の自主性、自発性を尊重し、からだ(動くこと)とあたま(考えること)とこころ(感じること)の調和の取れた発達を支援していくものです。保育、教育、子育て支援、障害者支援、高齢者支援などの現場で広く活用され、対象者だけでなく、指導者や保護者も含めて誰もが喜びと充実を感じることができる、人間尊重の教育・療法です。

ボランティア団体“ハッチ”はムーブメントの活動を毎月展開し、現在一緒に楽しく交流する仲間を募集しています。神栖市内及び近隣にお住まいの特別支援学校や支援学級、保育所、幼稚園に通う児童やそのご家族、余暇活動を求める障害児・者とそのご家族、ムーブメントに関心のある方など、お気軽にご参加ください。

◇開催場所：神栖市中央公民館 小ホール

◇準備物：動きやすい服装と上履き、飲み物

◇お問合せ：ハッチ代表 早田恵子 090-9017-0052
(日本ムーブメント教育・療法協会認定上級指導者)



ムーブメントで使用する道具、パラシュート。

【年間開催予定】		
2019年	4月14日	2020年 1月 5日
	5月12日	2月 2日
	6月 2日	3月 1日
	7月 7日	
	8月18日	※いずれも日曜日
	9月 1日	午前10時～12時
	12月 1日	(受付9時30分～)
※参加費は無料、事前申込不要です。		

かみすファミリーサポートセンターのご案内

かみすファミリーサポートセンターは、安心して子育てができる環境づくりを目指し、子育ての手助けをしてほしい方（利用会員）とその手助けができる方（子育てサポーター）が会員登録し、地域で支え合う子育て支援活動を行っています。

＜利用するには＞

市内に在住・在勤の生後2ヶ月以上のお子さんを持つ方がご利用になれます。センターへの登録が必要です。利用時はサポーターとの事前打合せを行いますので、お早めに連絡をお願いします。

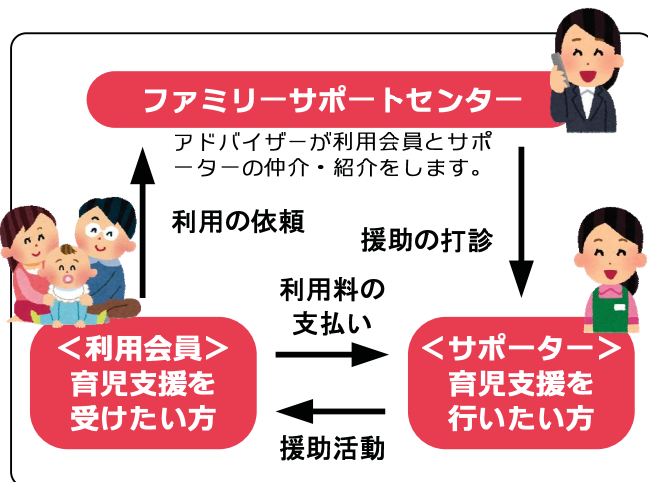
＜利用料金＞

- 午前7時から午後7時 650円/時間
- 上記の時間以外 750円/時間
(サポート時間 午前6時～午後10時)

※利用を取り消す(キャンセル)場合は、センターへ連絡をお願いします。利用前日までに連絡いただいた場合は料金が発生しませんが、当日のキャンセルについてはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

＜預かり場所＞

サポーター宅や女性・子どもセンター、児童館などの公共機関



＜利用依頼の主な内容＞

- ★保育園、幼稚園、学校等の帰宅後や休みの時のお子さんの預かりや送迎
 - ★冠婚葬祭、家族の通院、美容院、買い物等の外出時の預かり
- ※上記以外の内容などお気軽にご相談下さい。

【申込先及び問合せ先】

神栖市社協ファミリーサポートセンター
神栖本所 0299-93-1029 (担当:高森、大久保)
波崎支所 0479-48-0415 (担当:沢田、横田)



ファミサポ体験記

ファミリーサポートを利用している双子のDくん・KくんママとサポーターのSさん、Mさんから活動についてそれぞれ感想を寄せていただきました。

【双子のDくん・Kくん(共に4歳)ママより】

上の子の行事があるときなどに、ファミリーサポートを利用しはじめてもうすぐ4年になります。慣れるまでの間は人見知りもありましたが、今では「今日はサポーターさんと遊ぶ日だよ」と子どもたちに伝え、とても嬉しそうにしています。

お迎えに行った際にはサポーターさんがサポート中の様子を伝えてくれるので、どんなことをしていたのかが分かり、安心できます。子どもたちも楽しみにしているのでまた利用したいと考えています。

【サポーターのSさんより】

子どもの遊びを邪魔しないことを心に留めて活動しています。久しぶりに会ったときにも名前を呼んでくれたときには、サポーターとして活動していてよかったと感じました。子どもを預けることは不安があると思いますが、ママ自身がリフレッシュすることも大切にしてほしいと感じています。

【サポーターのMさんより】

Dくん・Kくんが1歳になる頃からサポートをしています。会うたびに成長していくので私も毎回、楽しみにしています。

子どもたちを預かる際には、サポーター同士で声かけをして安全に見守れるよう気を付けています。



2人のサポーターさんと遊ぶ、DちゃんとKちゃん